

科目名	シナリオ I						年度	2026	
英語科目名	Scenario I						学期	前期	
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必/選	選	時間数	60	単位数	4	種別※	講義+演習
担当教員	田中由香	教員の実務経験		有	実務経験の職種		声優		
【科目の目的】 子どもからシニア層までの観客の対象年齢を意識した作品を課題にし、状況に即したリーディングを学ぶ。課題作品に対してその都度、感想レポートを提出する。									
【科目の概要】 シナリオ・戯曲・台本を、声を出して読む力を学びます。									
【到達目標】 聞者（観客）が物語を想像し、楽しめるように読むことができることを目標とする。									
【授業の注意点】 授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応とする。また、連絡のない遅刻・欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標【解釈】	関連する事柄を調べ、作品の研究を深めている。	書かれている事から内容をしっかり把握し、自分なりの感想を持つ事ができる。	内容を理解できる。	部分的にわからないところがある。	内容を理解できていない。				
到達目標【表現】	作品に相応しく、より伝わる表現ができています。		作品が伝わる表現ができています。		伝わらない。				
到達目標【チームワーク】	自ら進んで仲間に声をかけ、意見を言い、相手の意見と違っても受け入れつつ自分の意見も友好的に言える。	自ら進んで仲間に声をかけ、意見を言い、相手の意見と違っても受け入れられる。	意見を言う事ができ、相手の意見も聞き入れる事ができる。	自分の意見を言う時や相手の意見を聞く時に感情的になる。	関わろうとしない。				
到達目標【基礎力】	表現力・発声・滑舌・姿勢・体力全て身に付いている。	発声・滑舌・姿勢・体力が身に付いている。	発声・滑舌・体力が身に付いている。	体力が身に付いている。	基礎力が身に付いていない。				
到達目標 E									
【教科書】 レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		シナリオ I			年度	2026
英語表記		Scenario I			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法
1	絵本	読み	1	読み	作品を知る。解釈する	2
2		キャスト決め	1	キャスト決め	自分の特徴を知る	
			2	読み	役を理解し表現する	
3		立ち稽古	1	読み	役を理解し表現する	
	2		立ち稽古	マイク前を想定し、立ち位置を記憶する		
4	授業内発表	1	発表	わかりやすく伝える		
5	小説①	読み	1	読み	作品を知る、解釈する	
6		キャスト決め	1	キャスト決め	自分の特徴を知る	
			2	読み	役を理解し表現する	
7		立ち稽古	1	読み	役を理解し表現する	
			2	立ち稽古	マイク前を想定し、立ち位置を記憶する	
8	立ち稽古	1	読み	役を理解し表現する		
		2	立ち稽古	マイク前を想定し、立ち位置を記憶する		
9	授業内発表	1	発表	役の複雑な心情を伝える		
10	戯曲	読み	1	読み	作品を知る、解釈する	
11		読み	1	読み	理解を深める	
12		キャスト決め	1	キャスト決め	自分の特徴を知る	
			2	読み	役を理解し表現する	
13		立ち稽古	1	読み	役を理解し表現する	
	2		立ち稽古	マイク前を想定し、立ち位置を記憶する		
14	立ち稽古	1	読み	役を理解し表現する		
		2	立ち稽古	マイク前を想定し、立ち位置を記憶する		
15	授業内発表	1	発表	役の複雑な心情を伝える		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等